

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
社会調査の基礎		必修 (社) 選択 (精.心)	2	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
榎木 隆寿	B306	t.masaki		火曜日 14:40～17:40	
授業の目的・概要	<p>〈目的〉 社会に関する様々なデータを正しく読み取る知識・態度を身に付ける。調査法の基本的な知識・技能を習得し、簡単な調査を計画・実施・分析できるようになる。</p> <p>〈概要〉 相談援助を行う際だけでなく、一般社会で働き、生活していく上で、社会に関する様々な統計データを正しく読み取り、データを活かして何かしらの判断を行うことが現代人には求められている。本講義では社会調査に関する基本的事項を概説し、受講者自らが調査の実施、結果の分析・報告ができるように統計的技能、そして科学的態度の習得を目指す。</p> <p>授業方法として、Microsoft Teams を利用した同時双方向型の遠隔授業を行う。</p>				
学 習 上 の 助 言	毎回講義に出席し、積極的な態度で受講することを望む。				
教 科 書	社会調査の基礎 第3版 / 編: 社会福祉士養成講座編集委員会 / 中央法規出版				
参 考 書	授業中に適時紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会調査の意義、社会福祉との関係性について説明することができる。			WP(2)、(3)、(5)	
②	量的調査と質的調査の方法、特徴について説明することができる。			WP(5)、(6)	
③	調査票 (質問紙) を作成し、調査の実施・分析・報告を行うことができる。			WP(5)、(6)	
④	社会調査に関する倫理について理解し、説明することができる。			WP(1)、(2)、(3)	
⑤	統計データを正しく読み取り、説明することができる。			WP(5)、(6)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション、授業の進め方について説明する。	同時双方向型授業	シラバス・配付資料を熟読し、本講義の概要をまとめる。	2	
2	社会調査の概要 (意義・目的) について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当頁を熟読し、講義内容について整理する。	4	
3	実際に行われた社会調査についてその概要を学ぶ。	同時双方向型授業	実際に行われた社会調査を自分で調べ、まとめる。	4	
4	社会調査に必要な基本的統計的手法について学ぶ (1)。	同時双方向型授業	教科書の該当頁を熟読し、配付資料の練習問題に取り組む。	4	
5	社会調査に必要な基本的統計的手法について学ぶ (2)。	同時双方向型授業		4	
6	量的調査 (特徴・方法) について学ぶ	同時双方向型授業	教科書の該当頁を熟読し、講義内容について整理する。	4	
7	量的調査における質問紙の作成方法について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当頁を熟読し、実際に質問紙の作成作業を行う。	4	
8	量的調査の実施、データ分析について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当頁を熟読し、実際にデータ分析作業を行う。	4	
9	質的調査 (特徴・方法) について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当頁を熟読し、講義内容について整理する。	4	
10	質的調査における調査計画の立て方について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当頁を熟読し、講義内容について整理する。	4	
11	質的調査の実施、データ分析について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当頁を熟読し、実際にデータ分析作業を行う。	4	
12	調査結果の報告書作成について学ぶ (1)。	同時双方向型授業	教科書の該当頁を熟読し、報告書作成の準備を行う。	4	
13	調査結果の報告書作成について学ぶ (2)。	同時双方向型授業	教科書の該当頁を熟読し、報告書作成の準備を行う。	4	
14	社会調査における倫理と個人情報保護について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当頁を熟読し、講義内容について整理する。	4	

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

15	社会科学としての社会福祉について学び、講義全体を総括する。	同時双方向型授業	教科書の該当頁を熟読し、講義内容について整理する。	6				
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照							
達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験 60	レポート 20	成果発表 0	ポートフォリオ 0	その他 20	合計 100	
総合力指標	知識・技術力	30	5	0	0	0	35	
	思考・推論・創造する力	30	5	0	0	0	35	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント					フィードバックの方法			
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	講義内容の理解度について、学期末に定期試験を実施し評価する。社会調査に関する適切な知識に加え、各種統計手法の特徴を正しく理解し、適切な方法を自ら選択、実施できることが必要となる。			学内掲示、オフィスアワー、そして、Microsoft Teams を利用して総評を行う。		
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
レポート	①		講義内で収集および提示した調査データに基づいてレポート（報告書）を作成し、授業期間内に提出する。形式を守って作成できているか、データについて正しい分析、解釈ができているかなどを評価する。			提出された課題については、採点后、返却を行う。		
	②							
	③	✓						
	④							
	⑤	✓						
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	講義中における練習問題や質疑応答等への取組みの姿勢・意欲を総合的に評価する。			学内掲示、オフィスアワー、そして、Microsoft Teams を利用して個別にフィードバックを行う。		
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
備 考								
<p>本科目は社会福祉士受験の指定科目「社会調査の基礎」に対応した科目である。資格取得を希望する者は必ず履修すること。</p> <p>Microsoft Teams を使って同時双方向型の遠隔授業を行う。課題ダウンロードなども行うので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。</p> <p>今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスが変更される場合がある。</p> <p>教員の実務経験： 無し</p> <p>実践的授業の内容： 架空データだけでなく、実社会のデータ、および講義中に収集したデータも用いて解析を行い、実用的な知識・技術の習得を目指す。</p>								